

説 教 「メモリアル・ワーシップ」 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2017年9月10日（日）

主 題：「希望に生きる人生の秘訣」

—イエスの約束—

テキスト：ヨハネ11：17－27

はじめに

- ・日本は自然災害が多い国のひとつです。9月1日は、「防災の日」として、日本全国で災害が発生した際のリハーサルが行われました。「備えあれば憂いなし」です。
- ・私にとって忘れられない記憶のひとつは、今から6年前でしたが、和歌山県、三重県、奈良県を襲った大型台風12号が襲来したことです。死者行方不明者数は100人以上、奈良県内では、何百人が孤立してしまいました。
- ・中でも私は、和歌山県那智勝浦町寺本眞一町長の悲劇を忘れることができません。町長はその日、町の災害対策を指揮するため役場に泊まり込んでいました。すると午前2時ごろ、夫人から電話が入りました。「外の様子を見に行った娘が流された！」と悲報が入りました。娘さんはその日、「結納の日」が入る予定日でした。
- ・そしてその後、夫人も災害で失いました。なんという悲劇でしょうか。私たちの想像を超えるほどの痛みで、私には言葉がありませんでした。
- ・私たちは人生において、避けられないこと、悲しいこと、辛いことに出会います。自然災害に対して、人はまったく無力です。「命の尊さ」を痛感します。
- ・皆さん。人生の試練に出会った時、軸足が確かな人と、そうでない人には大きな開きがあります。人生は一度しかありません。私たちは、一体どんな生き方をしているのでしょうか？ 一度しかない人生、意義のある、また生きがいのある人生を過ごすことができるならば、なんと幸いではありませんか。
- ・聖書の中にも、このような悲しいストーリーがあります。
今日のテキストを開いてください。今から約2000年前のことでした。
舞台はイスラエルのベタニヤという村で、そこには3人兄弟が住んでいました。マルタ、マリヤという姉妹と、ラザロという3人兄弟がいました。ところがラザロは亡くなり、墓に葬られてからすでに4日間もたっていました。
- ・大勢の人々が彼らを慰めるために来ていました。そして、イエスもそこに来られました。その時、マルタはイエスに言いました。

- 11:21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」
- ・彼女は、イエスが病人を癒す権威を持っていることを知っていました。するとイエスは言われました。
- 11:23 イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟はよみがえります。」
- 11:24 マルタはイエスに言った。「私は、終わりの日のよみがえりの時に、彼がよみがえることを知っております。」
- 11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
- 11:26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」
- ・そして、さらにイエスは言われました。
- 11:43 そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」
- 11:44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て来た。彼の顔は布切れで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどいてやって、帰らせなさい。」
- ・これがイエス・キリストが行われた不思議な奇跡の「わざ」でした。死んだ人が生き返る、それは人間にはできないことです。神にしかできない「わざ」を現わし、イエスは死人を生き返らせる権威をもっておられることを実証されました。
 - ・私たちは今日、イエスの「わざ」から次の2点を覚えておくと思います。

大切なポイント

1. 私たちの人生には痛みがある

1) 人生には避けられない痛みがある。

- ・人生でもっともつらいことは「死」です。とくに肉親の「死」は辛いものです。「死」とは、別れを意味します。もう戻れません。だれも「死」を止めることもできません。
- ・多数の人々が「死」に対して不安を持っています。なぜでしょうか・・・？
 - ① 死後が不明であるから。保証がなく、暗闇であるから。
 - ② 罪責感があるから ⇒人間は過去の延長戦上に立っています。
人の心には良心があり、罪に対して痛むものです。その責任は必ず取らなければなりません。

聖書：「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。」

ガラテヤ 6:7

- ・世の中では悪人が繁盛し、上手く生きています。私たちには理解が難しい理不尽なことが、多くあります。しかし、神はご存じです。神が義であるお方です。結局のところ、人はこの神の前に生きるものです。
- ・ところで私たちは、この避けられない「死」をどう受け止めているだろうか？
 - * 私たちの人生の痛み、それはどんな時でしょうか？

2) 人生に必要な時に、助け手がない

- ・今日のテキストのマルタをご覧ください。彼女は、こう言いました。
11:21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」
11:22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」
- ・マルタはイエスに信頼を持っていました。逆に言えば、信頼していただけに、失望も大きかつたでしょう。もしイエスがおられたら、兄弟ラザロは死ななかつたろう・・・と思いました。
- ・私たちは、このように失望することがあります。光が見えないからです。
マルタにとって一番必要な時に、イエスはおられなかつた。しかし
⇒ そこに神の計画がありました。
あなたも、そのような経験は無かつたでしょうか。そんな時にも、神は遠くにおられるのではありません。
- ・聖書：イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」 ヨハネ11:25

2. イエスの約束のことば

- ・マリヤとマルタの2姉妹は、この「避けられない悲しみ」と、「必要な時に、助け手がない」という失望を味わいました。あるいは今、あなたも同じような経験をしているかも知れません。人生の虚しさを感じてはいるかも知れません。
- ・イエスは、この悲しみの中にあつた2人に、なんと言われたでしょうか？
「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」 ヨハネ11:25
- ・なんと「力強い言葉」ではありませんか。

イエスは「よみがり」であり。「いのち」であり、「信じる者は生きる」と言われました。この言葉は真実でしょうか？ ラザロはイエスのお言葉どおり、復活しました。

- 私たちの身体は、やがて朽ちていきます。しかし、魂は永遠に生きるのです。イエス・キリストは十字架にかかり死なれました。しかし、三日目に死から復活されました。ですから、「**わたしを信じる者は、（同じように）死んでも生きるのです。**」と言われたのです。希望があります。

{例 話}

- 私の父は数年前に亡くなりました。クリスチャンでした。父の召天前の最後の言葉は、⇒ 「天国が見えた！」でした。希望をもって召天しました！
 - なぜ、天国は幸いな所でしょうか？ そこは再会の場であるかです。愛する人に再会できる所、そこは天国です。ですから、神を信じる者にとって死は、「一里塚」です。その先には永遠に共に過ごす天国が備えられているのです。
 - しかし神を信じなければ、その希望はありません。なぜなら、生前の負債（罪）に対しての清算が行われてないからです。イエス・キリストによって、負債の清算を行うならば、その人の氏名は天の「いのちの書」に記されています。神を信じる信仰は、あなたを救うことができます。それは神の約束です。
- 皆さん。人生にはいろいろなことがあります。理不尽なこと、避けられないこと、助け手がないこと等……。人生を輪切りで見るとはありませぬ。トータルで見てください。
 - あなたも、一度しかない人生を、有意義に過ごしたいと願いませんか。

神を信頼する人生 ⇒ そこに「希望」があります

イエス：「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、**死んでも生きるのです。**」 ヨハネ11:25
 - では、どうすれば「希望」を得ることができるでしょうか？

⇒ イエス・キリストの言葉を信じること

11:26 「また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。」
 - イエスは十字架の上で ⇒ 不安、痛み、悲しみの全てを背負ってくださったからです。そして罪をも背負ってくださいました。⇒ ですから、
 - 暗闇の中で迷う必要はない。
 - 罪責感で苦しむ必要はない。

- イエス・キリストが全てを背負ってくださったからです。
⇒ 信じる者は勝利者
- ・ イエスの言葉：「また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。」

ま と め

主 題：「希望に生きる人生の秘訣」

—イエスの約束—

- ・ イエスは死人ラザロを、お言葉で生き返らせました。権威あるお方だ！
私たちは今、生きています。しかし、本当の意味で生きているのでしょうか？
- ・ 聖書は、神を知らない人生は、霊的に死んだような存在であると言う。
今、神はあなたに語りかけておられる。
- 11:25 「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
- 11:26 「また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。」

* God bless you !